

▼【取り組み紹介】 企画を立てる

事業を始める前に

あらゆる組織が事業や活動を始めるときに重要なのが企画です。成果を生むための具体的な行動や目標を定め組織内で共有するものであり、事業を振り返る際によりどころでもあります。

今回は、公正な社会の実現を目指し、フィリピンや日本国内で、社会の変化に合わせさまざまな

事業を企画・実施している、認定特定非営利活動法人ソルト・パヤタス事務局長の井上広之さん（右写真）にお話を伺いました。



【事例】 認定特定非営利活動法人ソルト・パヤタスの取り組み 課題解決と優先順位を意識する

ソルト・パヤタスが事業を企画するタイミングは大きく分けて2パターンあるといます。

現地での課題が見えたとき、理事と職員が集まり事業を見直す合宿のときです。企画の際には、その事業を実施することが課題解決につながるかをしっかり考えます。実際に活動する人たちがやりたいことか、できることか、みんなが納得しているか、などの視点を大切にしています。企画者と活動者の間に食い違いがあると、最大限の力を発揮できなかつたり、途中で行き詰まったりすることもあるからです。

また、事業を増やすときには、人を増やすか、他の事業を削るかを同時に考えます。ただ事業を増やすことは、スタッフの疲弊や、本当にやるべきことに手が回らない事態を引き起こすからです。企画をしても、優先順位を考え今は実施しないと判断することもある、ということでした。



▲ 子ども達への読み聞かせの様子

企画を立てる時のポイント

よほど特徴的な事業でない限り、先行事例があります。まずは調べたり、話を聞きに行ったりするなどして、できる限り効果や問題を予測して企画を立てることで、事業開始後のつまづきを減らすことができます。

【団体紹介】 認定特定非営利活動法人ソルト・パヤタス

国内外にメンバーがいるソルト・パヤタスは、糟屋郡篠栗町に事務局があります。

貧困の世代間連鎖の問題について発信し、フィリピンの2地域で、学校に通えない子どもたちの奨学金支援や、女性の収入向上に取り組んでいます。近年、特に力を入れているのがライフスキル教育。図書館の建設やワークショップを通して、子どもたちが自分で考え、未来に希望をもつことで、頑張り抜く力を育てています。

(<http://www.saltpayatas.com/>)

国内での講演活動や、現地体験事業としてのスタディツアーを実施しています。年間200名ほどのツアー参加者が、仲間と想いを語り合いながら場としての交流会も開催。多くの人々が、貧困の問題を知り、考える機会を持てるよう、啓発に力を入れています。



▼ 団体活動情報

《NPO法人 スペース de GUN²》



▶ 団体発行のニュースレターはブログで紹介されています。
ブログ <https://blogs.yahoo.co.jp/npospegungun>

※ ソーシャルスキルトレーニング・・・対人関係や集団行動を上手に営んでいくためのスキルを習得するための訓練のこと

16年前に子どもたちとその保護者で結成し、その後清龍隊の演舞や雰囲気惹かれ集まったメンバーも加わり、現在は40名ほどで活動しています。当初のアットホームな雰囲気は今も変わらず、元気に活動中です。

青少年の育成に貢献することを目的として活動しており、子どもたちは団体活動をする中で、社会性や状況判断力が身についていきます。町内外を問わずイベントに出演するほか、町内小学校で演舞指導に取り組むなど、地域に根差した活動に力を入れています。

近年は福祉施設や町内会からの出演依頼も増え、町内のまちづくり団体や演芸披露団体と一緒に活動するなど、地域とのつながりが強まっていると感じていらっしゃるそうです。

【取材から見たこと】

今回は、活動の対象は同じ「子ども」でも、アプローチの異なる団体取材しました。そこで感じたのは「**社会の中での住民活動団体の役割**」についてです。「住民活動」と一言言っても、ボランティア団体で当事者と共に活動しながら地域に貢献する活動もあれば、NPOで仕事として専門性を高めながら当事者を支え

「志免町子どもの権利条例」を具現化するため、子どもの居場所「Relief.」(リリーフ)の運営事業と、適応指導教室「ぐんぐん」における不登校に対する支援事業に取り組む団体です。

「Relief.」(リリーフ)は、いつ来ても同じスタッフがいる、広すぎず目配り、気配りが行き届くことで居場所としての安心感が生まれ、子ども同士の口コミなどもあり利用者増につながっているようです。

現在力を入れているのは、不登校支援・子どもの居場所づくり・子どもの権利普及事業です。特に不登校支援事業における子ども達の学習支援と、「ソーシャルスキルトレーニング」※は並行して行う必要性があり、スタッフも日々勉強を重ねて子どもたちと向き合っています、と話されていました。

《志免清龍隊》



▶ 志免町文化協会主催「響・芸術祭」出演決定!!
平成31年3月9日(土)~10日(日)に志免町町民センターで開催される「響・芸術祭」への出演が決定しました。
艶やかな演舞をぜひお楽しみください。多くの方のご来場をお待ちしています。

ていく活動もあります。

どちらの活動もさまざまな相手と一緒に取り組んでおり、その中で相互にバランス良く機能することが、活動を継続していく上で大切なことなのだ改めて確認できました。

自発的で自由度の高い住民活動ならではの取り組みが、社会課題の解決につながっていくのだと感じました。